

教科目標

- (1) 家族・家庭の機能についての理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	ガイダンス【1】	③3年間の学習に見通しをもち、家庭分野の学習への期待と意欲がもてるようにする。	ワークシート
5	衣服の選択と手入れ 【12】	①・衣服と社会生活上の関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を活かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切に出来る。	定期考査 ワークノート プリント
6		②衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
7		③よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決の主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート
9			
10	生活を豊かにするための 布を用いた製作 消費者の権利と責任〔環境〕 【9】	①製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱いが適切に出来る。 ②資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査・作品

1 1		③よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート
1 2			定期考査
1	住居の機能と安全な住まい方	①・家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	ワークノート
	【9】	②家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	授業観察 ワークノート
2		③家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
3	食事の役割と中学生の栄養の特徴 【4】	①・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康により食習慣について理解している。	定期考査
		②自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	ワークノート 定期考査
		③よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考査	2 学期中間考査	2 学期期末考査	学年末考査
・衣服の選択と手入れ		・布を用いた製作 ・衣服の手入れ	・布を用いた製作 ・住居の機能と安全な住まい方

学習上のアドバイス

授業について

- ① 忘れ物をしない。製作中の作品は持ち帰り禁止です。間違えて家に持ち帰り、忘れると1時間無駄に過ごすことになります。くれぐれも注意しましょう。
- ② 提出期日を守る。作品未提出は評価に多大な影響があります。
- ③ ノートをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。

家庭学習のアドバイス

- ① 家庭科はまさにみなさんの家庭での日常を学ぶ教科です。長期休みにはお手伝いや洗濯、大掃除等の宿題も出します。お家の人に教えてもらったり、インターネットで調べたりして工夫しながら家事を行いましょう。
- ② 欠席した場合はその日に行ったことを友達に聞いて自習（ノート記入など）しましょう。

教科目標

- (1) 家族・家庭の機能についての理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	食事の役割と中学生の栄養の特徴【6】	①・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。	定期考査 プリント
		②自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	ワークノート 定期考査
5		③よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート
6	中学生に必要な栄養を満たす食事【6】	①・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概要が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	定期考査 ワークノート プリント
		②中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
		③よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート
7	日常食の調理と地域の食文化〔食品の選択と調理〕	①・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切に出来る。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	定期考査 ワークノート

8 9 10 11 12	【14】	<ul style="list-style-type: none"> ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切に出来る。 	実技テスト
11		②日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期検査 ワークノート
12		③家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート
1	金銭の管理と購入 【6】	①・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切に出来る。	定期検査 ワークノート
2		②物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3		③よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート
3	消費者の権利と責任 【3】	①消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	定期検査 ワークノート
		②自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
		③よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末検査	2 学期中間検査	2 学期期末検査	学年末検査
<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と中学生の栄養の特徴 ・中学生に必要な栄養を満たす食事 		<ul style="list-style-type: none"> ・日常食の調理と地域の食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任

学習上のアドバイス

授業について

- ① 忘れ物をしない。特にエプロンや三角巾を忘れると調理実習に参加できません。くれぐれも注意しましょう。
- ② 提出期日を守る。作品、ノート、プリント未提出は評価に多大な影響があります。
- ③ ノートをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。

家庭学習のアドバイス

- ① 家庭科はまさにみなさんの家庭での日常を学ぶ教科です。長期休みにはお手伝いや料理等の宿題も出します。お家の人に教えてもらったり、インターネットで調べたりして工夫しながら行いましょう。

② 欠席した場合はその日に行ったことを友だちに聞いて自習（ノート記入など）しましょう。

教科目標

- (1) 家族・家庭の機能についての理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理會しているとともに、それらに係わる技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材) 名 ※ 【 】 内数字は配当時数	単元(題材) の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4 5 6	幼児の生活と家族 【7.5】	①・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児のとしての遊びの意義や幼児との関わりについて理解している。 ②幼児との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査 プリント ワークノート
7 9 10 11	幼児の喜ぶおもちゃ製作 【6】	③家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ①課題をもって幼児の喜ぶおもちゃをデザインし、作ることができる。 ②製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切に出来る。	授業観察 ワークノート 定期考査 作品 ワークノート 授業観察
12 1	家族・家庭や地域との関わり 【4】	①・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	ワークノート 授業観察 プリント

2		②家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3		③家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークノート プリント

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考査	2 学期中間考査	2 学期期末考査	学年末考査
・ 幼児の生活と家族		・ 幼児の生活と家族 ・ パペット製作について	

学習上のアドバイス

授業について

- ① 忘れ物をしない。特に製作中の作品で使うパーツ（各自準備分）を忘れると1時間無駄に過ごすことになります。また製作中の作品は持ち帰り厳禁です。誤って家に持ち帰らないようにくれぐれも注意しましょう。
- ② 提出期日を守る。作品、ノート、プリントの未提出は評価に多大な影響があります。
- ③ ノートをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。
- ④ 出来るだけ休まない。2週間に1回しか授業がないので1回の授業の重みが大きくなります。なるべく休まないようにしましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 家庭科はまさにみなさんの家庭での日常を学ぶ教科です。日々を大切に過ごしましょう。
- ② 欠席した場合はその日に行ったことを友だちに聞いて自習（ノート記入など）しましょう。